

V 試験研究発表題名

平成 24 年度 試験研究発表題名一覧

1. 藤井智之, 大原偉樹, 大住克博. 「栓皮採取試験」(貴船) 供試木の成長と樹皮の傷害樹脂道. 応用森林学会大会研究発表要旨集, 63:65
2. 鳥居厚志. 腐植の集積. 森林のバランス, 東海大学出版会:197-205
3. 上村巧, 佐々木達也, 伊藤崇之, 鳥居厚志. 平坦地のモウソウチク林における帯状伐採の作業性. 森林利用学会誌, 28-1:51-58
4. Shinomiya, Y., Yamada, T., Inagaki, Y., Yoshinaga, S., Torii, A. INFLUENCE OF RAINFALL INCREASE ACCORDING TO HEAVY RAIN AND TYPHOON ON NITROGEN EXPORTS FROM A FORESTED CATCHMENT: A CASE STUDY IN THE SHIMANTO RIVER HEADWATERS. ASLO Aquatic Sciences Meeting, 2012
5. 稲垣善之, 篠宮佳樹, 野口享太郎, 鳥居厚志, 深田英久. 窒素安定同位体比を用いた樹木の窒素吸収源の評価. 日本土壌肥料学会講演要旨集, 58:13
6. 鳥居厚志. 四国地方のヒノキ、スギ林における事例. 交付金プロジェクト成果集 33「管理水準低下人工林の機能向上のための強度間伐施業技術の開発」, 1-5
7. 鳥居厚志. 竹資源の有効利用に関する現状と問題点. 新生産技術検証事業: 竹チップ等の用途拡大に向けた調査・検討 (日本特用林産振興会編) 資料編
8. 鳥居厚志. 科学情報を正しく伝える. 森林総合研究所関西支所研究情報, 107:1
9. 奥田裕規, 井上真 (東大). 山村の内発的発展のための条件: コモンズ論と協治論からの考察. 応用森林学会大会研究発表要旨集, 63:16
10. 奥田裕規. 山村振興に求められるもの. 日本森林学会大会学術講演集, 124:68
11. 奥田裕規, 横田康裕, 井上真 (東大), 斎藤暖生 (東大), 狩谷健一 (金山町森林組合). 山村の変貌と入会林野利用についての考察. 第 45 回環境社会学会大会自由報告要旨: 46-47
12. Tanaka, Nobuhiko, Okuda, Hironori. Can Green Tourism Create New Destinations in Satoyama Rural Areas? — A Case Study of a Geographical Analysis in Mogami Area, Yamagata Prefecture, Japan. Abstract Book of the Rimini World Leisure Congress 2012: 112
13. 奥田裕規. 山村振興問題の所在. 森林総合研究所関西支所研究情報, 105:1
14. 奥田裕規. 山村の内発的発展のための条件: コモンズ論と協治論からの考察. 「森林・林業形成研究会」第 30 回例会
15. 奥田裕規. 山村の変貌と入会林野利用の移り変わりについての考察. コモンズ研究会 2012 年 第 5 回定例会
16. 奥田裕規. 日本の山村と山村振興対策. 日韓森林・山村振興政策ワークショップ
17. Mangala Premakumara De Zoysa (ルフナ大), Inoue M. (東大), Yamashita U. (東京農工大), Okuda H. Collective Forest Management System in Japan: a Case Study in Osawa Property Ward Forest. Journal of Forest Science 2013 29 (1): 58-70
18. 古俣寛隆, 加藤幸浩, 大橋義徳, 石川佳生, 石河周平, 山本伸幸. 北海道における枠組壁工法住宅への地域材利用による経済波及効果. 木材学会誌, 58-4: 209-215
19. 山本伸幸. 森林の信託性についての予備的考察. 林業経済研究, 59-1: 55-62

20. 山本伸幸. 森林・林業統計の現状と展望. 応用森林学会研究発表要旨集, 63:15
21. 山本伸幸. フィンランドにおける森林管理賦課金の成立と展開. 林業経済学会秋季大会発表要旨, B21
22. 山本伸幸. 「林業の構造矛盾」について. 林業構造問題研究報告書, 林業経済研究所, 94-105
23. 細田育広, 澤野真治. 気候シナリオデータを用いた温暖寡雨地域山地溪流における基底流量変動推定の試み. 2012 年度水文・水資源学会研究発表会要旨集: 292-293
24. 細田育広. 温暖化シナリオにおける山陽の森林流域の渇水発生頻度. 農林水産省平成 24 年度委託プロジェクト研究研究成果発表会「農林水産業は気候変動にどう対応するか?」: 90
25. 細田育広. 竜ノ口山森林理水試験地南谷斜面のボーリング孔における地下水位変動. 日本森林学会大会学術講演集, 124:188
26. 細田育広, 阿部敏夫 (元森林総合研究所). 観測の現場を訪ねて— 33 森林総合研究所関西支所竜ノ口山森林理水試験地. 砂防学会誌, 65 (2): 56-60
27. 細田育広. 75 年目を迎えた竜ノ口山の森林理水試験. 森林総合研究所関西支所研究情報, 106:1
28. 細田育広. 基盤事業: 森林水文モニタリング—竜ノ口山森林理水試験地—. 森林総合研究所関西支所年報, 53:37
29. 細田育広. 岡山森林管理署管内竜ノ口山国有林における水源涵養試験. 近畿中国森林管理局平成 24 年度森林林業交流研究発表集録, 45:125-129
30. 石橋 靖幸, 大井 徹, 澤田 誠吾 (鳥根県中山間地域研究センター), 西信介 (鳥取県生活環境部). 中国山地ツキノワグマ個体群における MHC クラス II ベータ遺伝子の多様性. 日本哺乳類学会大会講演要旨集, 2012:210
31. 杉木 学 (北大・環境科学院), 石橋 靖幸, 齊藤 隆 (北大 SFC). mtDNA と msDNA 解析に基づく、エゾヤチネズミ個体群の遺伝構造—時間と空間、2つのスケールの観点から—. 日本生態学会大会講演要旨集, 60:204
32. 石橋靖幸. ツキノワグマ孤立個体群の保全に向けて—遺伝的多様性を把握する—. 森林総合研究所関西支所研究情報, 104:3
33. 奥田史郎, 酒井敦, 鹿島潤. ヒノキ植栽木の周囲地表被覆のための小型マルチシート敷設と植栽木の成長. 応用森林学会研究発表要旨集, 63:56
34. 奥田史郎. 植生の変遷、適応力と再生力. 森林総合研究所関西支所研究情報 104:1
35. 奥田史郎. クズの生態と防除 —クズの生長における特徴—. 林業と薬剤, 201:8-13
36. 野口麻穂子, 奥田史郎. 四国の暖温帯域のスギ人工林皆伐跡地における林分構造と種組成の変化—皆伐 5 年後から 11 年後まで—. 日本森林学会誌, 94 (4):192-195
37. 野口麻穂子, 宮本和樹, 伊藤武治, 奥田史郎. 針葉樹人工林を広葉樹林に —天然更新は可能か?—. 四国の森を知る, 18:2-3
38. 篠宮佳樹, 稲垣善之, 野口麻穂子, 奥田史郎, 宮本和樹, 伊藤武治. 強度間伐したヒノキ人工林の表層土壌の物理性. 森林総合研究所研究報告, 11 (3):175-180
39. 奥田史郎. クズの生態と防除 (2) —クズの生理生長、再生繁殖、利用 (その 1) —. 林業と薬剤, 203:10-13
40. 稲垣善之, 野口享太郎, 宮本和樹, 奥田史郎, 野口麻穂子, 伊藤武治. 間伐がヒノキ葉の窒素濃度および炭素安定同位体比に及ぼす影響. 日本生態学会第 6 大会講演要旨集, 60:358

41. 宮本和樹, 奥田史郎, 野口麻穂子, 伊藤武治, 佐藤重穂. 四国のヒノキ強度間伐林分における残存木の葉の水分特性. 森林総合研究所研究報告, 11 (4) : 223-231
42. 奥村栄朗, 酒井敦, 奥田史郎. 四国南西部・三本杭におけるニホンジカの摂食剥皮害による落葉広葉樹天然林の衰退. 日本哺乳類学会大会講演要旨集, 2012 : 89
43. 奥村栄朗, 酒井敦, 奥田史郎. ニホンジカの摂食剥皮害による落葉広葉樹天然林の衰退 ～四国南西部・三本杭における継続調査から～. 四国自然史科学研究センター・設立 10 周年記念シンポジウム「四国の自然は、いま 2012」プログラム・要旨集, 100
44. 奥村栄朗, 酒井敦, 奥田史郎. 四国南西部における落葉広葉樹天然林のニホンジカ摂食剥皮害による衰退. 日本森林学会大会学術講演集, 124 : 160
45. Kuroda K. (神戸大), Osumi K., Oku H. Reestablishing the health of secondary forests “Satoyama” endangered by Japanese oak wilt: A preliminary report. . Journal of Agricultural Extension and Rural Development, 4 (9) : 192-198.
46. 高原 光 (京都府大), 大住克博, 平山貴美子 (京都府大), 佐々木尚子 (京都府大). 温帯性針葉樹の植生帯での位置づけ - 森林動態, 古生態資料からの考察. 日本生態学会大会講演要旨集, 60 : 113
47. 大住克博. 温帯性針葉樹の歴史的盛衰から考える中間温帯林の二面性—モミ・ツガ林か、落葉樹林か—. 日本森林学会大会学術講演集, 124 : 89
48. 小山泰弘 (長野県林務部), 大住克博, 清水裕子 (森林風致計画学研究所). 山火事跡地で萌芽更新したコナラ幼齢林の開花結実挙動. 日本森林学会大会学術講演集, 124 : 116
49. 野口麻穂子, 星崎和彦 (秋田県立大学生物資源科学部), 松下通也 (秋田県立大学生物資源科学部), 安倍一博 (秋田県立大学生物資源科学部), 杉浦大樹 (秋田県立大学生物資源科学部), 柴田銃江 (森林総合研究所東北支所), 星野大介 (国際農林水産業研究センター), 正木隆, 大住克博, 高橋和規, 鈴木和次郎 (只見町ブナセンター). 溪畔域の老齢天然林における 22 年間の種子生産変動. 日本森林学会大会学術講演集, 124 : 107
50. 大原偉樹, 五十嵐哲也, 藤井智之. 11 年間無伐採であったモウソウチク林のトマリタケノコの動態. 応用森林学会大会研究発表要旨集, 63 : 64
51. 齊藤武史, 金子智紀 (秋田県森林技術センター), 和田覚 (秋田県森林技術センター), 大原偉樹. 全天空写真撮影によるスギ人工林内光環境推定手法の検討—プログラムオート撮影と林外測光撮影との比較—. 東北森林科学会大会講演要旨集, 17 : 65
52. 和田覚 (秋田県森林技術センター), 金子智紀 (秋田県森林技術センター), 大原偉樹. スギ人工林の間伐が混交林化と表土保全機能に及ぼす影響. 東北森林科学会大会講演要旨集, 17 : 3
53. 大原偉樹. 日本最長寿のタケの紹介とタケノコあれこれ. 森林総合研究所関西支所研究情報, 106 : 2
54. 高橋和規. 近畿・中部地方における *Magnolia salicifolia* の形態変異. 応用森林学会大会研究発表要旨集, 63 : 50
55. 高橋和規, 下田直義. *Magnolia salicifolia* (モクレン科) の二型的分化と分類記載の再検討. 日本植物分類学会大会講演要旨集, 12 : 2a10
56. 高橋和規. 西日本におけるコブシの衰退にみる平地林の危機. 森林総合研究所関西支所研究情報, 107 : 2
57. 山下直子, 奥田史郎, 藤井智之, Lei Thomas (龍谷大学). 里山構成種における葉の形態的可塑性と林冠ギャップへの適応能力. 応用森林学会大会研究発表要旨集, 63 : 62

58. Kawahara T., Koda Y. (北海道大学), Shimura H. (北海道大学), Sugiura N. (熊本大学), Takahashi H. (北海道大学), Izawa T. (北海道大学), Yamaki K., Shoji Y., Iino T., Yamashita N., Kitamura K., Inoue K. (信州大学). The conservation of *Cypripedium macranthos* var. *rebutense* from multiple points of view. . The 8th International Symposium on Diversity and Conservation of Asian Orchids Abstracts: 43-50
59. 山下直子. 人工林に生き残った樹木—コショウノキ—. 森林総合研究所関西支所研究情報, 105 : 2
60. 山下直子. コショウノキが住処を求めて. 森林総合研究所関西支所公開講演会要旨集, 24 : 2
61. 鶴川信, 高橋正通, 森貞和仁, 竹内学, 松浦陽次郎, 吉永秀一郎, 荒木誠, 田中永晴, 池田重人, 三浦覚, 石塚成宏, 小林政広, 稲垣昌宏, 今矢明宏, 南光一樹, 橋本昌司, 相澤洲平, 平井敬三, 岡本透, 溝口岳男, 鳥居厚志, 酒井寿夫, 大貫靖浩, 金子真司. 日本の森林における枯死木、堆積有機物、土壌の炭素蓄積量：森林土壌インベントリの第1報（英文）. 森林総合研究所研究報告, 11 (4) : 207-222
62. 溝口岳男. シカが変える樹木の菌根と菌根菌. 森林総合研究所関西支所研究情報, 106, 3
63. JOMURA Mayuko (日本大学), KOMINAMI Yuji, ATAKA Mioko (京都大学). Differences between coarse woody debris and leaf litter in the response of heterotrophic respiration to rainfall events. *Journal of Forest Research*, 17 (3) : 305-311
64. 小南裕志・安宅未央子 (京都大学)・和田佳子 (京都大学)・吉村謙一 (京都大学)・檀浦正子 (京都大学)・金澤洋一 (神戸大)・深山貴文・植松千代美 (大阪市大). 交野市大阪市立大学附属植物園森林におけるナラ枯れ被害の状況について. 応用森林学会大会研究発表要旨集, 63 : 49
65. KOMINAMI Yuji, JOMURA Mayuko (日本大学), ATAKA Mioko (京都大学), TAMAI Koji, MIYAMA Takafumi. Heterotrophic respiration causes seasonal hysteresis in soil respiration in a warm-temperate forest. *Journal of Forest Research*, 17 (3) : 296-304
66. Andreasson F. (京都大学), Dannoura M. (京都大学), Kominami Y., Makita N. (京都大学), Ataka M. (京都大学). Mycorrhizal hyphae contribution to C-dynamics in temperate forest soils. 第37回根研究集会講演要旨集, O-6
67. 高梨聡, 檀浦正子 (京都大学), 小南裕志, 中野隆志, 中井裕一郎. アカマツに吸収された二酸化炭素はいつ、どれだけ呼吸として放出されるのか?. 日本生態学会大会講演要旨集, 60 : 265
68. Andreasson F. (京都大学), Dannoura M. (京都大学), Kominami Y., Makita N. (京都大学), Ataka M. (京都大学). Contribution of Mycorrhizal Hyphae to Carbon Fluxes in Temperate Forests. SRR (International Society of Root Research) 2012 "Roots to the Future"
69. 和田佳子 (京都大学), 檀浦正子 (京都大学), 小南裕志. コナラとスタジイの年輪における炭素安定同位体比変動. 日本森林学会大会学術講演集, 124 : 239
70. 檀浦正子 (京都大学), 小南裕志, 高梨聡, 吉村謙一 (京都大学), 安宅未央子 (京都大学), Andreasson F. (京都大学)・Epron D. (ナンシー大学), 牧田直樹 (京都大学), 奥村智憲 (京都大学), 深山貴文, 高橋けんし (京都大学). 光合成産物が細根・菌糸に届くまで—安定同位体パルスラベリングを用いたアプローチ—. 第37回根研究集会講演要旨集, P-22
71. 安宅未央子 (京都大学)・小南裕志・吉村謙一 (京都大学)・深山貴文. 落葉広葉樹二次林における落葉分解呼吸量の時系列変化. 日本森林学会大会学術講演集, 124 : 262
72. 小南裕志, 深山貴文, 玉井幸治, 後藤義明, 安宅未央子 (京都大学), 檀浦正子 (京都大学), 吉村謙一 (京都大学), 上村真由子 (日本大学), 金澤洋一 (神戸大). 暖温帯広葉樹林における長期炭素収支の変動とその要因. 日本森林学会大会学術講演集, 124 : 70

73. 吉村謙一（京都大学），森千佳（奈良女大），小南裕志，深山貴文，石田厚（京都大学）．落葉樹・常緑樹における葉光合成速度の変動と光・水利用—どんな環境要因が森林樹木の光合成を制限するか？．日本生態学会大会講演要旨集，60：108
74. 谷川東子．イオウの循環．森林立地学会編「森林のバランス」（大学出版部協会）：250-258
75. 谷川東子，山下尚之（アジア大気汚染研究センター），相澤州平，大貫靖浩，高橋正通，吉永秀一郎．火山灰の混入した森林小流域土壌におけるイオウ化合物の空間分布—ジオスタティスティクスを用いた解析—．日本土壌肥科学会大会，58：16
76. 谷川東子，伊藤嘉昭（京大），福島整（物質材料研），杉山暁史（京大），佐瀬裕之（アジア大気汚染研究センター），山下尚之（アジア大気汚染研究センター），今矢明宏，高橋正通．高分解能2結晶型X線分光を用いた伊自良湖集水域土壌のイオウ結合形態の評価．日本森林学会大会学術講演集，124：114
77. 平野恭弘（名大），檀浦正子（京大），山瀬敬太郎（兵庫県森林技術センター），谷川東子，山本梨加，池野英利，大橋瑞江（兵庫県立大），青野健治，牧田直樹（京大），金澤洋一（神戸大）．樹木根を地中探査用レーダを用いて検出する—これまでの知見とこれからの課題—．日本森林学会大会学術講演集，124：184
78. 谷川東子，佐瀬裕之（アジア大気汚染研究センター），山下尚之（アジア大気汚染研究センター），伊藤嘉昭（京大），福島整（物質材料研），杉山暁史（京大），今矢明宏，高橋正通．伊自良湖流域における森林土壌の化学性—酸性化指標とイオウ含量—．日本生態学会大会講演要旨集，60：360
79. 谷川東子，伊藤嘉昭（京大），福島整（物質材料研），杉山暁史（京大），佐瀬裕之（アジア大気汚染研究センター），山下尚之（アジア大気汚染研究センター），今矢明宏，高橋正通．高分解能2結晶型X線分光を用いた伊自良湖集水域土壌のイオウ結合形態の評価．生存圏ミッションシンポジウム，139
80. 谷川東子，檀浦正子（京大），山瀬敬太郎（兵庫県森林技術センター），青野健治（環境総合テクノス），池野英利，大橋瑞江（兵庫県立大），平野恭弘（名大）．地中レーダ走査線と樹木根の伸長方向がなす角度が根バイオマス推定値に与える影響とその補正法．根研究会，37：40
81. 平野恭弘（名大環境），檀浦様子（京大農），山瀬敬太郎（兵庫県森林技術セ），谷川東子，青野健治（環境総合テクノス），金澤洋一（神戸大農）．地中レーダを用いた様々な樹種根系の検出．根研究会，37：39
82. 関原光太郎（名大），谷川東子，檀浦正子（京大），山瀬敬太郎（兵庫県森林技術センター），池野英利，大橋瑞江（兵庫県立大），平野恭弘（名大）．樹木根の三次元可視化—数の点座標から個体根系構造復元へのアルゴリズムの開発—．根研究会，37：20
83. Hirano Y. (名大), Dannnoura M. (京大), Tanikawa T., Yamase K. (兵庫県森林技術センター), Aono K. (環境総合テクノス), Yamamoto R. and Kanazawa Y (神戸大).. Application of ground penetrating radar to rootsof Pinusthunbergiiforests. Belowground carbon turnover in European forests (COST ACTION FP0803), 46
84. Dannoura M. (京大), Hirano Y. (名大), Tanikawa T., Yamase K. (兵庫県森林技術センター), Aono K. (環境総合テクノス), Igarashi T., Ishii M. , Kanazawa Y. (神戸大). Angle of root crossed scanning line is important for root detection with ground penetrating radar GPR. International Society of Root Research, 57
85. Hasegawa T, Uemura M, Fukada N, Tanikawa T, Tsurui T, Shimizu M, Yokoi S, Usuki N, Ohta T, Amemiya K, Motoyama M, Kanda K, Fukushima S. K and L-edge Spectra of Several Sulfur Compounds.. European Conference on X-ray Spectrometry, Program and Book of Abstracts, 191
86. 谷川東子．森林土壌におけるイオウ化合物の蓄積機構—イオウを多く貯める日本の土壌のナゾ—．兵庫県計量協会事例発表会

87. T. Hasegawa (シンクロトロンアナリシス LLC), M. Uemura (シンクロトロンアナリシス LLC), T. Tanikawa, S. Fukushima (物質・材料研究機構), M. Motoyama (兵庫県立大学), K. Kanda (兵庫県立大学). K and L-edge Spectra of Several Sulfur Compounds. LASTI Annual Report 2011, 13: 59-60
88. 黒川潮. 樹種別の樹木根系による斜面補強効果の推定. 砂防学会研究発表会概要集, 24, 66 : 658-659
89. 黒川潮, 岡田康彦. 2010 年広島県庄原市豪雨災害における斜面崩壊と地形・森林の関係. 応用森林学会大会研究発表要旨集, 63 : 20
90. 黒川潮. 航空レーザー測量で見えるもの. 森林総合研究所関西支所研究情報, 104 : 2
91. 岡田康彦, 黒川潮, 浅野志穂. 宮城県栗原市・日影森地すべりの長距離運動機構に関する土質力学的検討. 砂防学会研究発表会概要集, 24, 66 : 548-549
92. 岡田康彦, 黒川潮, 浅野志穂. 日影森で発生した地すべりの流動化機構の土質力学的検討. 森林総合研究所研究報告, 11 (2) : 71-75
93. Yasuhiko Okada, Ushio Kurokawa, Shiho Asano. Examining fluidisation mechanisms of Hikagemori landslide triggered by Iwate-Miyagi Nairiku Earthquake in 2008 by laboratory soil tests.. Earthquake-induced Landslides, 2013 : 431-435
94. 小川泰浩, 黒川潮, 阿部和時 (日本大), 久保寺秀夫 (九州沖縄農業研究センター). 高濃度火山ガスが噴出する三宅島噴火堆積物斜面における噴出物表層部の理化学性変化が植生回復に与える影響. 日本緑化工学会誌, 38 (2) : 290-301
95. 小川泰浩, 岡部宏秋, 黒川潮. 三宅島雄山の火山ガス高濃度地域における山腹緑化試験. 日本緑化工学会誌, 38 (1) : 164-167
96. 黒川潮, 岡田康彦, 浅野志穂. 桜島火山の斜面透水性の特徴と土石流計測の検討. 九州森林管理局桜島地区における火山性土石流に対する計測システムの検討事業報告書, 24 : 53-72
97. Takafumi Miyama, Motonori Okumura (京都大学), Yuji Kominami, Kennichi Yoshimura (京都大学), Mioko Ataka (京都大学), Akira Tani (京都大学). Nocturnal isoprene emission from mature trees and diurnal acceleration of isoprene oxidation rates near *Quercus serrata* Thunb. Leaves. Journal of Forest Research, 18 (1) : 4-12
98. 深山貴文, 小南裕志, 奥村智憲 (京都大学), 安宅未央子 (京都大学), 吉村謙一 (京都大学). 森林起源 VOC の多点観測システムの開発. 応用森林学会大会研究発表要旨集, 63 : 21
99. 安宅未央子 (京都大学), 小南裕志, 深山貴文, 吉村謙一 (京都大学). 落葉広葉樹二次林における落葉分解呼吸量の時間変動. 応用森林学会大会研究発表要旨集, 63 : 24
100. 深山貴文, 小南裕志, 奥村智憲 (京都大学), 森下智陽. コナラ、ミズナラ、ナラガシワの夜間イソプレン放出. 生物起源微量ガスワークショップ講演要旨集, 2012 : 18
101. 深山貴文, 奥村智憲 (京都大学), 小南裕志, 吉村謙一 (京都大学), 安宅未央子 (京都大学), 檀浦正子 (京都大学). 落葉広葉樹二次林周辺における植生起源揮発性有機化合物の拡散過程について. 日本森林学会大会講演要旨集, 124 : 74
102. 小松雅史 (京都大学), 吉村謙一 (京都大学), 藤井佐織 (同志社大学), 矢崎健一, 溝口康子, 深山貴文, 小南裕志, 安田幸生, 山野井克己, 北尾光俊. 落葉広葉樹林の炭素吸収量に及ぼす対流圏オゾンの影響. 日本森林学会大会講演要旨集, 124 : 74

103. 奥村智憲 (京都大学), 小杉緑子 (京都大学), 深山貴文, 小南裕志, 東野達 (京都大学). ヒノキ林におけるモノテルペンフラックスの季節変化. 日本農業気象学会全国大会, 2013 : 57
104. Satoshi Yamashita, Tsutomu Hattori, Hiroshi Tanaka. Changes in community structure of wood-inhabiting aphyllophoraceous fungi after clear-cutting in a cool temperate zone of Japan: Planted conifer forest versus broad-leaved secondary forest. *Forest Ecology and Management*, 283 : 27-34
105. Jariya Sakayaroj, Sita Preedanon, Satinee Suetrong, Anupong Klayuban, E. B. Gareth Jones, Tsutomu Hattori. Molecular characterization of basidiomycetes associated with the decayed mangrove tree *Xylocarpus granatum* in Thailand. *Fungal Diversity*, 56 : 145-156
106. Hirotooshi Sato (京都大学), Shigeo Morimoto (京都市), Tsutomu Hattori. A thirty-year survey reveals that ecosystem function of fungi predicts phenology of mushroom fruiting. *Plos One*, 7 (11) e49777 : 1-8
107. Motohiro Hasegawa, Arthur Y. C. Chung, Tomohiro Yoshida, Tsutomu Hattori, Masahiro Sueyoshi, Masamichi T. Ito, Satoshi Kita. Effects of Reduced-Impact Logging on Decomposers in the Deramakot Forest Reserve. *Ecological Research Monographs*, DOI 10.1007/978-4-431-54141-7_4, 63-87
108. Kozue Sotome, Yasunori Akagi, Su See Lee, Noemia K. Ishikawa, Tsutomu Hattori. Taxonomic study of *Favolus* and *Neofavolus* gen. nov. segregated from *Polyporus* (Basidiomycota, Polyporales). *Fungal Diversity*, 58, 245-266, DOI 10.1007/s13225-012-0213-6
109. Tsutomu Hattori, Kozue Sotome (鳥取大学). Type studies of the polypores described by E. J. H. Corner from Asia and the West Pacific VIII. Species described in *Trametes* (2). *Mycoscience* 54 : 297-308, DOI org/10.1016/j.myc.2012.10.008
110. 服部力, 早乙女梢 (鳥取大学), 橋屋誠 (富山県中央植物園). 日本新産の *Bondarcevomyces taxi* (新称: カワリサルノコシカケ; イグチ目イチョウタケ科). 日本菌学会大会講演要旨集, 56 : 27
111. Kimiko Okabe, Satoshi Yamashita, Tsutomu Hattori, Motohiro Hasegawa, Hiroshi Tanaka, Shun'ichi Makino. Conservation of deadwood could conserve microscopic organisms such as mushroom mites. Second International conference on biodiversity in forest ecosystems and Landscapes. Univ. College Cork, Ireland, 27-31 Aug. 2012 T57
112. 太田祐子, 服部力, 中村仁 (果樹研究所), 寺嶋芳江 (琉球大学), 幸由利香 (千葉県), 早乙女梢 (鳥取大学). Multilocus phylogeny reveals *Fomitiporia torreyae* as a causal agent of trunk rot on Sanbu-Sugi, Japanese cedar in Japan. 2012 International conference on "Globalization, climate changes, and Technological Convergence: Changes and opportunity of Plant Pathology.
113. Thi BK (FRIM), Lee SS (FRIM), Hattori T., Ota Y. and Lee SL (FRIM). Assessment of growth rate and enzymatic activity of *Microporus* spp. A preliminary data.. Malaysian Science Technology Congress Programme and Abstracts: 19-21
114. 服部力, 宮下俊一郎, 長谷川絵里, 栗生剛 (和歌山県林業試験場). スギ辺材腐朽菌の接種試験. 日本森林学会大会学術講演集, 124 : 229
115. 佐橋憲生, 秋庭満輝, 太田祐子, 升屋 勇人, 服部力, 向哲嗣 (東京都環境局自然環境部), 島田律子 (東京都環境局自然環境部), 小野剛 (東京都農林総合研究センター生産環境科), 佐藤豊三 (農業生物資源研究所遺伝資源センター). 小笠原諸島における南根腐病の発生状況および宿主植物. 日本森林学会大会学術講演集, 124 : 162
116. 太田祐子, 木村恵, 服部力, 幸由利香 (千葉県農林総合研究センター). サンプスギ以外のスギ品種における非赤枯性溝腐病の発生. 日本森林学会大会学術講演集, 124 : 229

117. 服部力. 木を倒すきのこ (1) コフキササルノコシカケ. 森林総合研究所関西支所研究情報, 104 : 4
118. 服部力. 木を倒すきのこ (2) ベッコウタケ. 森林総合研究所関西支所研究情報, 105 : 4
119. 服部力. 木を倒すきのこ (3) スルメタケ. 森林総合研究所関西支所研究情報, 106 : 4
120. 遠藤利恵 ((株) 東洋羽毛工業・京大生存研), 服部力, 杉山淳司 (京都大学). 京都市北白川追分町遺跡出土子実体の同定. 日本木材学会講演要旨集, 63 : X29-06-1100
121. Yoshimura M. Effects of forest disturbances on aquatic insect assemblages. . Entomological Science, 15 : 145-154
122. Yoshimura M, Tong XL (South China Agricultural University), Wang YF (South China Agricultural University), Guan ZY (South China Agricultural University), Mo JM (Chinese Academy of Science), Yoh M (東京農工大). Responses of benthic invertebrate assemblages to shifts in the acidity of subtropical mountain streams. . Tropical Zoology, 25 : 16-30
123. 富樫博幸 (京都大学), 加藤義和 (京都大学), 石川尚人 (京都大学), 吉村真由美, 徳地直子 (京都大学), 大手信人 (東京大学), 由水千景 (京都大学), 陀安一郎 (京都大学). アミノ酸の窒素安定同位体比から読み解く山地溪流域の食物網構造—護摩壇山試験地の事例—. 日本陸水学会大会講演要旨集, 77 : 30
124. 加藤義和 (京都大学), 石川尚人 (京都大学), 富樫博幸 (京都大学), 吉村真由美, 由水千景 (京都大学), 奥田昇 (京都大学), 陀安一郎 (京都大学). アミノ酸の窒素安定同位体比を用いた琵琶湖流域の食物網解析. 日本陸水学会大会講演要旨集, 77 : 77
125. 吉村真由美, 童曉立 (South China Agricultural University), 莫江明 (Chinese Academy of Science), 楊宗興 (東京農工大学). 中国における底生動物群集の流域酸性化による影響. 日本陸水学会大会講演要旨集, 77 : 156
126. 吉村真由美. カワゲラの生活史と安定同位体比. 日本昆虫学会大会講演要旨集, 72 : 61
127. Togashi H (京都大学), Kato Y (京都大学), Ishikawa NF (京都大学), Yoshimura M, Tokuchi N (京都大学), Ohte N (東京大学), Okuda N (京都大学), Tayasu I (京都大学). A difference in food web structures with various forest stand ages in headwater streams in central Japan. . Meeting program of ASLO Aquatic Sciences Meeting 2012, 62
128. Kato Y (京都大学), Ishikawa NF (京都大学), Togashi H (京都大学), Yoshimura M, Itoh M (京都大学), Osaka K (滋賀県立大学), Okuda N (京都大学), Ohte N (東京大学), Yoshimizu C (京都大学) and Tayasu I (京都大学). Food web analysis based on nitrogen isotopic ratio of amino acid in river ecosystem. Meeting program of ASLO Aquatic Sciences Meeting 2012, 50
129. Taira A (大阪府立大学), Yoshimura M, Tanida K (大阪府立大学). Life Cycle and Habitat Characteristics of the Larvae of Rhyacophila kuramana (Trichoptera, Rhyacophilidae). Program and abstract book of the first symposium of the Benthological Society of Asia, 1 : 30
130. Yoshimura M. Preference of tree types in adults of Kamimuria tibialis. . Abstract book of XVII International Symposium on Plecoptera and XIII International Conference on Ephemeroptera, 81.
131. 富樫博幸 (京都大学), 加藤義和 (京都大学), 石川尚人 (京都大学), 尾坂兼一 (滋賀県立大学), 吉村真由美, 由水千景 (京都大学), 徳地直子 (京都大学), 陀安一郎 (京都大学), 大手信人 (東京大学). ミカン畑と魚類をつなぐ硝酸：土地利用が河川生態系へ及ぼす影響に関する安定同位体解析. 日本生態学会大会講演要旨集, 60 : 305

132. 石川尚人 (京都大学), 加藤義和 (京都大学), 富樫博幸 (京都大学), 吉村真由美, 由水千景 (京都大学), 奥田昇 (京都大学), 陀安一郎 (京都大学). 河川複雑系食物網の高精度解析 ～アミノ酸窒素安定同位体比からのアプローチ～. 日本生態学会大会講演要旨集, 60 : 304
133. 吉村真由美. 人為的インパクトによる水生昆虫群集の変化. 日本生態学会大会講演要旨集, 60 : 306
134. 吉村真由美. 森林施業が溪流性底生動物に与える影響. 日本森林学会大会学術講演集, 124 : 194
135. Takashi Ikeda, Hiroshi Takahashi, Tsuyoshi Yoshida, Hiromasa Igota, Koichi Kaji. Evaluation of camera trap surveys for estimating sika deer herd composition. *Mammal Study* 38 (1) : 29-33
136. Tachiki Y. (立木靖之・EnVision), Yoshihisa Y. (義久侑平・酪農大), Hino T. (日野貴史), Matsuura Y. (松浦友紀子), Yoshida T. (吉田剛司・酪農大), Kaji K. (梶光一・農工大), Takahashi H. (高橋裕史), Akamatsu R. (赤松里香・EnVision). The entry pathway estimation by cost-path analysis for urban deer in Sapporo City. IVth International Wildlife Management Congress
137. 高橋裕史, 境米造 (京都府農林水産技術センター), 井上巖夫 (京都府森林保全課), 芝原淳 (京都府農林水産技術センター), 小泉透. 林地におけるドロップネットを用いたニホンジカ捕獲. 日本哺乳類学会大会講演要旨集, 2012 : 88
138. 池田敬 (農工大), 高橋裕史, 吉田剛司 (酪農大), 伊吾田宏正 (酪農大), 松浦友紀子, 梶光一 (農工大). シカの密度推定のためのカメラトラップの有効な設置密度と設置日数. 日本哺乳類学会大会講演要旨集, 2012 : 202
139. 竹下和貴 (農工大), 上野真由美 (道環境研), 高橋裕史, 池田敬 (農工大), 三ツ矢綾子 (農工大), 吉田剛司 (酪農大), 伊吾田宏正 (酪農大), 梶光一 (農工大). 洞爺湖中島個体群における崩壊後の再増加プロセスの解明. 日本哺乳類学会大会講演要旨集, 2012 : 199
140. 松浦友紀子, 高橋裕史, 日野貴文 (酪農大), 池田敬 (農工大), 義久侑平 (酪農大), 吉田剛司 (酪農大). 北海道大規模風倒跡地周辺におけるエゾシカの密度と分布の変化. 日本哺乳類学会大会講演要旨集, 2012 : 192
141. 吉田剛司 (酪農大), 立木靖之 (EnVision), 日野貴文 (酪農大), 義久侑平 (酪農大), 伊吾田宏正 (酪農大), 高橋裕史, 松浦友紀子, 梶光一 (農工大), 赤松里香 (EnVision), 近藤誠司 (北大). イリジウム型 GPS 首輪によるニホンジカのモニタリングと情報ツールとしての運用の可能性. 日本哺乳類学会大会講演要旨集, 2012 : 205
142. Koichi Kaji, Hiroshi Takahashi, Takashi Ikeda, Tsuyoshi Yoshida, Hiromasa Igota. Repeated irruption of a sika deer population with changing main winter food resources. The Wildlife Society 19th Annual Conference, 2012
143. 竹下和貴 (農工大), 上野真由美 (道環境研), 高橋裕史, 池田敬 (農工大), 三ツ矢綾子 (農工大), 吉田剛司 (酪農大), 伊吾田宏正 (酪農大), 梶光一 (農工大). エゾシカの個体群動態に影響を与える齢構造と動態パラメータ. 個体群生態学会大会講演要旨集, 28 : 31
144. 池田敬 (農工大), 高橋裕史, 吉田剛司 (酪農大), 伊吾田宏正 (酪農大), 松浦友紀子, 日野貴文 (酪農大), 角田裕志 (農工大), 梶光一 (農工大). エゾシカの捕獲技術法の効率比較—洞爺湖中島での検証—. 野生生物保護学会大会プログラム・講演要旨集, 18 : 36-37
145. 池田敬 (農工大), 高橋裕史, 吉田剛司 (酪農大), 伊吾田宏正 (酪農大), 松浦友紀子, 梶光一 (農工大). 北海道洞爺湖中島のエゾシカにおける個体数推定. 野生生物保護学会大会プログラム・講演要旨集, 18 : 23
146. Shin-Ichi Seki (関伸一), Isao Nishium (西海功) (国立科学博物館), Takema Saitoh (齋藤武馬) (山階鳥類研究所). Distribution of Two Distinctive Mitochondrial DNA Lineages of the Japanese Robin *Luscinia akahige* Across Its Breeding Range Around the Japanese Islands. *Zoological Science*, 29 : 681-689

147. 関伸一. 自動撮影カメラとタイマー付録音機で記録されたトカラ列島の無人島群における鳥類相. Bird Research, 8 : A35-A48
148. 関伸一. カメラが見た、I Cレコーダーが聴いた、無人島：トカラ列島臥蛇島の鳥類調査. 日本鳥学会大会講演要旨集, 2012 : 222
149. 齋藤武馬 (山階鳥類研究所), 関伸一, 平岡考 (山階鳥類研究所), 西海功 (国立科学博物館). New technology and regional topics for avian phylogeny (最先端技術を用いた鳥類の分子系統学の現状). 日本鳥学会大会講演要旨集, 2012 : 245
150. 関伸一. 横当島・上ノ根島のその後の話. あまみやましぎ, 92 : 21
151. 関伸一. 氷ノ山のソウシチョウ. 森林総合研究所関西支所研究情報, 107 : 3
152. 関伸一. トカラ列島だより. におのうみ, 29 : 14
153. 衣浦晴生, 宮下俊一郎, 藤井智之. ナラ枯れ被害木の薪用割材処理によるカシノナガキクイムシ駆除効果. 応用森林学会大会研究発表要旨集, 63 : 39
154. 所雅彦, 大谷英児, 後藤秀章, 衣浦晴生, 栗生剛 (和歌山県林業試験場). カシノナガキクイムシ太平洋型の化学生態学的な特徴について. 関東森林学会大会, 2
155. 福田秀志, 森川尚季 (日福大), 小堀英和 (樹木医会愛知), 衣浦晴生. 愛知県知多半島で行ったナラ枯れの総合防除とその効果 (Ⅲ) —総合防除 3 年目の成果—. 樹木医学会大会講演要旨集, 17
156. 衣浦晴生. カシノナガキクイムシ. 農業総覧花卉病虫害診断防除編、追録 11 号第 7 巻「花木、庭木、緑化樹」ナラ類
157. 衣浦晴生, 所雅彦, 後藤秀章, 新井一司 (東京都農林総合研究センター), 中村健一 (東京都農林総合研究センター), 竹内純 (東京都島しょ農林水産総合センター八丈事業所). スダジイへの殺菌剤樹幹注入によるカシノナガキクイムシ被害防止効果. 日本森林学会大会学術講演集, 124 : 129
158. 栗生 剛 (和歌山県林業試験場), 衣浦晴生, 中森由美子 (和歌山県林業試験場). 和歌山県のシイ・カシ林におけるカシノナガキクイムシ被害発生動態. 日本森林学会大会学術講演集, 124 : 128
159. 所 雅彦, 大谷英児, 後藤秀章, 衣浦晴生, 濱口京子, 栗生 剛 (和歌山県林業試験場), 竹内 純 (東京都島しょ農林水産総合センター八丈事業所). カシノナガキクイムシ太平洋型と日本海型の化学生態学的な面からの比較. 日本森林学会大会学術講演集, 124 : 127
160. 岡田充弘 (長野県林業総合センター), 猪野正明 (サンケイ化学株式会社), 齊藤正一 (山形県森林研究研修センター), 吉濱健 (サンケイ化学株式会社), 衣浦晴生, 所雅彦. 殺菌剤少量注入処理によるナラ枯れ予防方法の検討. 日本森林学会大会学術講演集, 124 : 230
161. 近藤洋史, 齊藤正一 (山形県森林研究研修センター), 加賀谷悦子, 衣浦晴生, 山中武彦 (農業環境技術研究所), 所雅彦, 牧野俊一. ナラ枯損被害ポテンシャルマップの作成—ナラ類を対象として—. 日本森林学会大会学術講演集, 124 : 129
162. 長谷川絵里, 太田祐子, 服部力, 佐橋憲生, 菊地泰生 (宮崎大学). 日本の針葉樹上に生息するナラタケ属菌. 森林防疫, 62 : 4-12
163. 長谷川絵里, 宮下俊一郎. 特異的プライマーによるサクラてんぐ巣病菌のサクラからの検出. 樹木医学会大会講演要旨集, 17 : 33
164. 長谷川絵里, 秋庭満輝, 岩本宏二郎, 勝木俊雄, 太田祐子, 高畑義啓, 石原誠, 佐橋憲生, 窪野高德. 多摩森林科学園における幼果菌核病発生のサクラ系統間の差異. 日本森林学会大会学術講演集, 124 : 231

165. 長谷川絵里. 木を倒すきのこ (4) ナラタケモドキ. 森林総合研究所関西支所研究情報, 107 : 4
166. 長谷川絵里. サクラの病害 (幼果菌核病と斑点性病害・てんぐ巣病). 桜の新しい系統保全 形質・遺伝子・病害研究に基づく取組 (多摩森林科学園編), 36-37
167. Noriko Iwai, Etsuko Shoda-Kagaya, Keiko Hamaguchi. Isolation and characterization of eight microsatellite loci in the Otton frog, *Babina subaspera*. *Journal of Forest Research*, 17 : 446-448
168. 濱口京子. カシノナガキクイムシに見られた地域変異. 森林総合研究所関西支所研究情報, 105 : 3
169. 鎌田直人 (東京大), 後藤秀章, 楠本大 (東京大), 濱口京子, 升屋勇人, 江崎功二郎 (石川県林業試験場), 平尾聡秀 (東京大). ナラ枯れ流行の原因を探る旅—海外のカシナガとナラ菌—. 北方林業, 65 (2) : 56-60
170. 齋藤和彦. 沖縄における皆伐の歴史の研究. 亜熱帯森林・林業研究発表会講演要旨集, 24 : 15
171. 齋藤和彦. 沖縄県国頭村の森林の戦前・戦後史—貴重な生き物が生息する森の履歴—. 林業経済学会大会発表要旨集, 2012 : 20
172. 高橋興明, 齋藤和彦, 永田雅史 (長岡京市農林振興課). 航空機 LiDAR データを用いた管理状態の異なる竹林の分類. 日本森林学会大会学術講演集, 124 : 97
173. 三好岩生 (京都府立大学), 深町加津枝 (京都大学), 奥敬一. 宮津市上宮津地区における自然災害および自然資源利用に関する住民意識. ランドスケープ研究, 76 (5) : 627-632
174. Oliver Rackham (ケンブリッジ大学コープス・クリスティ・カレッジ) 著, 奥敬一, 伊東宏樹, 佐久間大輔 (大阪自然史博), 篠沢健太 (工学院大学), 深町加津枝 (京都大学) 監訳. イギリスのカントリーサイド 人と自然の景観形成史. イギリスのカントリーサイド 人と自然の景観形成史, 昭和堂
175. 深町加津枝 (京都大学), 三木裕子 (京都大学), 奥敬一. Isolated trees and hedgerows in Koshihata, a rural district in the northernmost part of Kyoto City. *International Symposium on Hedgerows: 'HEDGEROW FUTURES' Proceedings*, 66-69
176. 奥敬一. 2010 年代のための里山ワークショップ 『薪復権の道筋』 概要報告. 山林, 1536 : 44-51
177. 田中邦宏. B 種間伐、上層間伐、ナスビ伐りにおける直径分布の経年変化の比較—固定試験地における 37 ～ 103 年生までの継続調査をもとに—. 応用森林学会大会研究発表要旨集, 63 : 11
178. 田中邦宏. 間伐方法の違いと直径分布の経年変化について. 日本森林学会大会学術講演集, 124 : 92
179. 田中邦宏, 齋藤和彦, 近口貞介, 桝山真司. 滝谷スギ人工林収獲試験地定期調査報告、— B 種間伐区、上層間伐区、ナスビ伐り区の比較—. 森林総合研究所関西支所年報, 53 : 38-40